

池田高校 SSH 卒業生アンケート
高校 29 期 Mさん

(聞き手 英語科 葛原)

1 まず、あなたは今どのような学生生活をされていますか。

国公立大学で物理学を学んでいる。

2 高校時代はどういう研究をされましたか。

高校 1 年次は「ケイ効果」と呼ばれる、粘性が比較的強い流体の落下時の不思議な事象について研究していた。また、2 年次以降は古文書から過去の気象データベースを作成、解析し、気象と歴史的事象の関係等について研究していた。

3 研究活動の上で、最も印象深かったことは何ですか。

幸運なことに、「つくばサイエンス EDGE」のオーラルプレゼンテーションに出場させていただく機会があり、全国大会ならではの緊張感や発表チームとの連携などは非常に良い経験であり、印象深い出来事だった。

4 そこで学んだことはどういうことだと考えますか。

発表チームとの連携や声の大きさ、ボディーランゲージ等もちろん重要だが、最も学びになったことは「チーム内で討論し多角的に意見を取り入れることで、発表の場の粗をできる限りなくす努力の重要性」だった。発表の場で予測通りの質問が来た時の安心感や、全く予期していない質問が来た場合の焦りなどが非常に印象深く、学びになった点である。

5 SSH の学びにより、科学的な感性や好奇心、思考力は伸びたと思われますか。

私は幼い頃から知的好奇心が高く、特に科学系に関しての完成は強かったため、その点では不明瞭だが、研究や発表に触れる機会は高校生にはなかなかない貴重なものであり、どのように研究するのかなど考えるのは現在、物理学を学び実験をする上でも経験や教訓として記憶にあることから、思考力の成長はあったと思う。

6 プレゼンテーションやわかりやすく話す力や表現力は付いたと思いますか。

思う。これまで述べたように、数多くの発表の場があったため、鍛えられたと思う。

7 高校時代が普通の教科学習だけで終わったとしたら、どう違ったと思いますか。

様々な研究発表会に参加させていただき、他校の発表をたくさん聴いたことで科学という学問と実生活の関係が強く見えるようになった点で、変化があったのではないかと思う。

8 SSHの学びは、あなたの進路選択に影響しましたか。また、研究したことで学習意欲は高くなったと思いますか。

あらかじめ理系選択であったため、影響していないが、学習意欲は向上したと思う。

9 現在どのような生活を送っていますか。研究はどんな様子ですか。今の自分に役立っているところはどんなところと考えますか。

人前で発表するスキルは、高校時代に多く発表させていただいたことで、高められたと思う。

10 今後の池田高校のSSHについてどう考えますか。期待することなどを教えてください。

私が物理学を専門とし学ぶ上で、宇宙物理学の研究は「お金にならない」という点で他の学問に比べ研究が進みづらいと思っている。SSHは研究としては、もちろん重要だが、それ以上に高校生の研究経験や育成という目標があると思っている。その点で、学問として難解ではあるが、幸い鹿児島にはJAXAの発射場もあるので、宇宙の研究などがあればより良いSSHの課題研究になると思う。